

水道事業会計

水道事業会計〔上下水道事務所 上下水道課 所管〕

1. 概要

守谷市の水道事業は、昭和46年に旧守谷地区の一部を給水区域として簡易水道事業が発足した。昭和53年には上水道事業に移行し、順次給水区域を拡大して、昭和63年3月には配水管網の整備を完了した。その後も安定給水のため取水施設や配水施設を整備し、現在に至っている。

令和3年度は、茨城県企業局が行う県南西広域水道用水供給事業(利根川浄水場)からの浄水受水により安定した給水に努める。水道施設の運転・維持管理については、「水道事業ビジョン」や「経営戦略」に基づき、効果的な民間企業による包括管理や計画的な老朽管の布設替工事を実施する。さらに、水道管路管理システム及び水道設備管理システムを活用した効率的な資産管理に努める。

2. 収益的収入及び支出

(収入)

(単位：千円，%)

款	項	3年度	構成比	2年度	構成比	増減額	増減率
水道事業収益	営業収益	1,390,657	86.5	1,360,201	86.8	30,456	2.2
	営業外収益	217,470	13.5	206,766	13.2	10,704	5.2
	特別利益	5	0.0	5	0.0	0	0.0
収入合計		1,608,132	100.0	1,566,972	100.0	41,160	2.6

(支出)

(単位：千円，%)

款	項	3年度	構成比	2年度	構成比	増減額	増減率
水道事業費用	営業費用	1,369,582	94.9	1,430,486	96.5	△ 60,904	△ 4.3
	営業外費用	42,824	3.0	47,463	3.2	△ 4,639	△ 9.8
	特別損失	27,385	1.9	769	0.1	26,616	3,461.1
	予備費	3,000	0.2	3,000	0.2	0	0.0
支出合計		1,442,791	100.0	1,481,718	100.0	△ 38,927	△ 2.6

3. 資本的収入及び支出

(収入)

(単位：千円，%)

款	項	3年度	構成比	2年度	構成比	増減額	増減率
資本的収入	他会計負担金	15,004	99.9	17,715	99.3	△ 2,711	△ 15.3
	他会計補助金	20	0.1	120	0.7	△ 100	△ 83.3
	工事負担金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
収入合計		15,025	100.0	17,836	100.0	△ 2,811	△ 15.8

(支出)

(単位：千円，%)

款	項	3年度	構成比	2年度	構成比	増減額	増減率
資本的支出	建設改良費	487,084	98.9	237,517	97.8	249,567	105.1
	企業債償還金	5,592	1.1	5,448	2.2	144	2.6
	工事負担金 返還金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
支出合計		492,677	100.0	242,966	100.0	249,711	102.8

《収益の収入》

1 営業収益

○給水収益 1,326,103 千円 予算書P. 383

区 分		3年度	2年度	増 減	増減率 (%)	
総調定件数		件	177,750	172,710	5,040	2.9
内訳	定例分	件	174,900	169,710	5,190	3.1
	随時分	件	2,550	2,700	△ 150	△ 5.6
	仮設分	件	300	300	0	0.0
総有収水量 (A)		m ³	6,623,200	6,483,800	139,400	2.1
内訳	定例分	m ³	6,606,000	6,464,000	142,000	2.2
	随時分	m ³	14,000	15,000	△ 1,000	△ 6.7
	仮設分	m ³	3,200	4,800	△ 1,600	△ 33.3
予算額 (B)		千円	1,326,103	1,301,994	24,109	1.9
内訳	定例分	千円	1,321,332	1,296,468	24,864	1.9
	随時分	千円	3,808	4,080	△ 272	△ 6.7
	仮設分	千円	963	1,446	△ 483	△ 33.4
供給単価 (B/A)		円	200.22	200.81	△ 0.59	△ 0.3

* 積算根拠

定例分 6,606,000 m³ × 200.01 円 (供給単価) ≒ 1,321,332 千円

随時分 14,000 m³ × 272.00 円 (供給単価) = 3,808 千円

仮設分 3,200 m³ × 300.93 円 (供給単価) ≒ 963 千円

※積算結果は、供給単価の一銭未満を切り捨てているため差異が生じます。

○受託事業収益 44,205 千円 予算書P. 383

(単位：千円，%)

区 分	3年度	2年度	増減額	増減率
下水道使用料徴収事務受託収入 (事務経費の1/2負担)	44,205	43,679	526	1.2
上下水道料金徴収事務経費	88,409	87,357	1,052	1.2
参考：水道事業会計負担分 (事務経費の1/2負担)	44,205	43,679	526	1.2

* 積算根拠

料金用封筒印刷代 69,300 円×1/2≒ 35 千円

上下水道料金納付書郵送料 5,339,618 円×1/2≒ 2,670 千円

上下水道料金徴収業務委託料 75,174,000 円×1/2= 37,587 千円

コンビニ収納委託料 1,864,368 円×1/2≒ 932 千円

クレジット収納委託料 3,803,580 円×1/2≒ 1,902 千円

口座振替手数料 1,955,250 円×1/2≒ 978 千円

窓口収納手数料 202,400 円×1/2≒ 101 千円

合 計 44,205 千円

2 営業外収益

○分担金収入 57,200 千円 予算書P. 383

区 分		3年度	2年度	増 減	増減率 (%)	
新規加入者	箇所	200	200	0	0.0	
マンション	箇所	60	0	60	皆増	
予 算 額		千円	57,200	44,000	13,200	30.0

* 積算根拠

新規加入者(口径20mm) 200 箇所 × 220,000 円 = 44,000 千円

マンション 60 箇所 × 220,000 円 = 13,200 千円

《収益的支出》

1 営業費用

○原水及び浄水費 730,770 千円 予算書P. 384

[水道事業収益： 730,770 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

利根川浄水場からの浄水受水により、水道水を安定的に確保する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

水源の全量を茨城県企業局の利根川浄水場から、年間契約水量に基づき受水する。

- | | | | |
|---------|-------|------------|---|
| (1) 受水費 | 基本料金 | 349,074 千円 | ((契約水量21,000m ³ -500m ³) × 1,290円/m ³ × 12月 × 1.10) |
| | 使用料金 | 354,123 千円 | (使用水量19,600m ³ /日 × 45円/m ³ × 365日 × 1.10) |
| (2) その他 | 委託料ほか | 27,573 千円 | |

○配水及び給水費 159,433 千円 予算書P. 384

[その他： 11,463 千円 水道事業収益： 147,970 千円]

*その他積算根拠

[負担金：消火栓維持管理負担金 1,420 千円]

[負担金：事業運営経費負担金 10,043 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

配水・送水施設等を適正に管理して、水道水を安定的に供給する。また、定期的な水質検査を行い、水道水の安全性を確保する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

配水池・配水ポンプなどの配水・送水施設の運転管理、維持管理を包括管理委託により効率的、かつ効果的に行う。また、効率的な維持管理のために電子化した水道管路管理システムを業務委託により適正に管理し、水道法に基づき配水の定期的な水質検査を業務委託により行う。

- | | | |
|---------|---------------|-----------|
| (1) 委託料 | 配水場包括管理委託料 | 62,292 千円 |
| | 水質検査委託料 | 4,113 千円 |
| | 水道管路管理システム委託料 | 4,092 千円 |
| (2) 修繕費 | 給水管維持修繕費 | 2,090 千円 |
| | 給水管布設替工事費 | 8,470 千円 |
| | 配水管維持修繕費 | 4,614 千円 |
| | 消火栓維持修繕費 | 1,089 千円 |
| | 包括管理修繕費 | 24,706 千円 |
| | 量水器費 | 20,697 千円 |
| | 量水器取替費 | 19,476 千円 |
| (3) その他 | 材料費ほか | 7,794 千円 |



配水池



配水ポンプ

○受託事業費 44,205 千円 予算書 P. 385

[その他: 44,205 千円]

*その他積算根拠

[受託事業収益: 下水道使用料徴収事務受託収入 44,205 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

適正な経理を行うため、下水道使用料徴収事務に係る経費負担を明確に区別する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

上下水道料金徴収委託料の経費のうち、公共下水道事業会計及び農業集落排水事業特別会計が負担する額を計上する。

(1) 委託料 下水道使用料徴収事務受託委託料 44,205 千円

○総係費 152,142 千円 予算書 P. 385

[その他: 6,103 千円 水道事業収益: 146,039 千円]

*その他積算根拠

[負担金: 事業運営経費負担金 5,335 千円]

[補助金: 児童手当給付補助金 768 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

適正な経理を行うため、料金徴収事務を業務委託で実施する。また、安定した事業の継続と効率的な運営を図るため、水道設備管理システムの更新等を業務委託により実施する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

事業経営に必要な委託料、電気料及び人件費等の経費を計上する。

(1) 委託料 上下水道料金徴収委託料 37,587 千円
 コンビニ収納委託料 933 千円
 クレジット収納委託料 1,902 千円
 水道設備管理システム委託料 1,870 千円
 その他委託料 992 千円
 (2) 動力費 配水場電気料 24,989 千円
 (3) その他 職員給与費ほか 83,869 千円

○資産減耗費 14,506 千円 予算書 P. 389

[水道事業収益 14,506 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

適正な資産管理を行うため、水道施設の改築更新に伴い撤去等をする資産を固定資産から除却する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

安定した給水を継続するため、配水管の撤去工事等を計画的に行う。

(1) 固定資産除却費 水道管撤去工事費 12,826 千円
 構築物除却費 333 千円
 機械及び装置除却費 841 千円
 工具器具及び備品除却費 6 千円
 (2) たな卸資産減耗費 たな卸資産減耗費 500 千円

2 営業外費用

○支払利息 813 千円 予算書 P. 389

[水道事業収益: 813 千円]

(単位: 千円)

区分	2年度末 残高見込額 (利息) (A)	3年度償還額			3年度末 残高見込額 (利息) (A - B)
		元 金	利息 (B)	計	
上水道事業債	2,826	5,592	813	6,405	2,013

3 特別損失

○過年度損益修正損 1,046 千円 予算書P. 389

[水道事業収益： 1,046 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

水道料金等の債権を適正に管理する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

漏水減免等の事実の発生に基づき、決算された収入額を減額修正し、収納状況に応じて還付する。

・過年度調定還付修正額	水道料金	330 千円
	分担金	715 千円
・貸倒損失		1 千円

○その他特別損失 26,338 千円 予算書P. 390

[水道事業収益： 26,338 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

適正な資産管理を行うため、令和3年度に限り発生する井戸施設の撤去等に伴い、資産を固定資産から除却する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

令和元年10月から全量を県南西広域水道用水供給事業(利根川浄水場)からの受水に転換したことにより、引き続き、井戸施設等の撤去工事等を計画的に行う。

・固定資産除却費	井戸施設撤去工事費	23,078 千円
	構築物除却費	1,811 千円
	機械及び装置除却費	1,449 千円



撤去予定井戸施設
(中央地内：3号井)

《資本的支出》

1 建設改良費

○上水道建設費 484,821 千円 予算書P. 391

[その他： 15,025 千円 過年度分損益勘定留保資金等： 469,796 千円]

*その他積算根拠

[負担金：消火栓設置負担金 15,004 千円]

[補助金：児童手当給付補助金 20 千円]

[負担金：配水管布設工事負担金 1 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

水道利用者に対して安全・安心な水道水を継続的に供給するため、水道施設の建設又は改良を行う。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

配水管の耐震化及び老朽管を更新するため、布設替工事を実施する。

(1) 委託料	配水管工事設計委託料	23,639 千円
	自家発電設備更新設計委託料	26,312 千円
(2) 工事請負費	消火栓設置工事費	1,150 千円
	消火栓更新工事費	12,403 千円
	配水管布設替工事費	309,382 千円
	包括管理更新工事費	99,451 千円
(3) その他	職員給与費ほか	12,484 千円



既設管撤去状況



配水管布設替工事

2 企業債償還金

○企業債償還金（元金） 5,592 千円 予算書P. 392

[積立金： 5,592 千円]

(単位：千円)

区 分	2年度末 残高見込額 (元金) (A)	3年度償還額			3年度中 借入予定額 (C)	3年度末残高 見込額 (元金) (A - B + C)
		元金 (B)	利 息	計		
上水道事業債	34,297	5,592	813	6,405	0	28,705

企業債の借入利率別現在高の状況 (3年度末見込・元金)

区 分	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	3.5%超	計
残高 (千円)	6,244	10,581	5,993	5,887	0	28,705
件数 (件)	4	7	5	3	0	19